令和５年度　熊本県立人吉高等学校　五木分校　シラバス

| 教科 | 国語 | 科目（単位数） | 古典探究（２） | 学年 | 2 | 類型 | 普通科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 学習<br>目標 | 言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。<br>（1）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。<br>（2）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。<br>（3）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| 期間 | 単元（学習内容） | 評価基準【知識・技能】 | 評価基準【思考・判断・表現】 | 評価基準【主体的に学習に取り組む態度】 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【１学期】<br>４月<br>～<br>５月 | ①古文<br>説話（一）<br>「小式部の内侍が大江山の歌の事」（古今著聞集）<br>【領域：読むこと】 | ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。<br>・文語のきまりについて理解を深める。 | ・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。<br>・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える | ・積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。<br>・和歌の修辞について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしたりしている。 | 知：指名音読・定期考査<br>思：発問評価・調査とまとめ・定期考査<br>態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出 |
| 【１学期】<br>６月<br>～<br>７月 | ②漢文<br>故事・寓話<br>「画竜点睛」（歴代名画記）<br>「推敲」（唐詩紀事）<br>「朝三暮四」（列子）<br>【領域：読むこと】 | ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>・訓読のきまりについて理解を深める。 | ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。<br>・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。<br>・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 | ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。 | 知：指名音読・定期考査<br>思：発問評価・調査とまとめ・定期考査<br>態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出 |
| | ③古文<br>随筆（一）<br>「奥山に猫またといふものありて」（徒然草）「ゆく川の流れ」（方丈記）<br>【領域：読むこと】 | ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。<br>・古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。<br>・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。<br>・文語のきまりについて理解を深める。 | ・作者の鋭い観察眼を通して綴られた、世の諸事象に関する随筆を読んで、ものの見方・考え方を深める。<br>・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 | ・随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。<br>・作品に表れた我が国の中世的なものの見方、考え方に対して、学習の見通しをもって理解を深めようとしている。 | 知：指名音読・定期考査<br>思：発問評価・調査とまとめ・定期考査<br>態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出 |
| 【２学期】<br>９月<br>～<br>１０月 | ④漢文<br>漢詩の鑑賞<br>「鹿柴」（王維）・「絶句」（杜甫）・「春夜」（蘇軾）・「除夜寄弟妹」（白居易）<br>【領域：読むこと】 | ・漢詩の特徴について理解を深める。<br>・漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。<br>・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。<br>・訓読のきまりについて理解を深める。 | ・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。<br>・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。<br>・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 | ・漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。 | 知：指名音読・定期考査<br>思：発問評価・調査とまとめ・定期考査<br>態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出 |
| 【２学期】<br>１０月<br>～<br>１１月 | ⑤古文<br>物語（一）<br>「初冠」（伊勢物語）<br>「かぐや姫の昇天」（竹取物語）<br>【領域：読むこと】 | ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>・歌物語の特徴について理解を深める。<br>・文語のきまりについて理解を深める。・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。<br>・古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。 | ・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。<br>・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。<br>・伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 | ・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。<br>・学習の見通しをもって平安初期の作り物語を読み、その特徴について、理解を深めようにしている。 | 知：指名音読・定期考査<br>思：発問評価・調査とまとめ・定期考査<br>態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出 |
| 【２学期】<br>１１月<br>～<br>１２月 | ⑥漢文<br>不思議な世界<br>「売鬼」（捜神記）<br>【領域：読むこと】 | ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。<br>・訓読のきまりについて理解を深める。 | ・一般的なイメージとは異なる幽霊についての話を読み、古代中国の人々の超常的な存在に対する見方に触れる。<br>・小説という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。<br>・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 | ・積極的に志怪小説を読んで、一般的なイメージとは異なる幽霊の特徴を捉えるとともに、宋定伯が幽霊を売ることができた理由を説明しようとしている。 | 知：指名音読・定期考査<br>思：発問評価・調査とまとめ・定期考査<br>態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出 |
| 【３学期】<br>１月<br>～<br>２月 | ⑦古文<br>説話（二）<br>「児の知恵」（沙石集）<br>和歌・俳諧<br>「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」<br>【領域：読むこと】 | ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>・文語のきまりについて理解を深める。<br>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。<br>・和歌の修辞などの表現の特色について理解を深める。<br>・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 | ・庶民教化を目的とした中世の説話を読んで、人のどういう行為を戒めようとしたのかを読み解く。<br>・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。<br>・和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 | ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる助詞の用法について積極的に理解して、口語訳したり説明したりしようとしている。<br>・着想や表現方法の時代による変化を理解し、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。 | 知：指名音読・定期考査<br>思：発問評価・調査とまとめ・定期考査<br>態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出 |
| 【３学期】<br>２月<br>～<br>３月 | ⑧漢文<br>三国志の世界<br>「死諸葛走生仲達」（十八史略）<br>【領域：読むこと・書くこと】 | ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。<br>・訓読のきまりについて理解を深める。 | ・諸葛亮と司馬懿の心理戦を味わうとともに、二人の人物像への理解を深める。<br>・史伝という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。<br>・史伝を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 | ・積極的に史伝を読み、時代背景をふまえて登場人物どうしの関係を捉えようとしている。<br>・登場人物の言動を粘り強く読み取り、その意図やその時の心情を説明しようとしている。 | 知：指名音読・定期考査<br>思：発問評価・調査とまとめ・定期考査<br>態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出 |

| | |
|---|---|
| 使用教材<br>（教科書・副教材） | 「高等学校　標準　古典探究」（第一学習社）・「新訂版 最新国語便覧」（浜島書店）・「トリプルアプローチ 字義で覚える常用漢字」（浜島書店）<br>・「体系漢文」（数研出版）・「やさしくくわしい古典文法ノート」（尚文出版） |
| 学習方法 | ・　音読や黙読を通し、古典中の言葉についての感性を身につける。　・　授業中は黒板を写すだけではなく、行間の説明等のメモを行う。<br>・　便覧や辞書等を活用し、疑問を解決しようとする進取の態度で臨む。・　文法・句法を習得して、より正確な古典の文章理解力を身につける。<br>・　授業の理解度向上のために「日々の課題」にも着実に取り組む。　・　話し合い活動等の協働学習に積極的に参加し、自分の意見を深める。<br>・　古典の文章読解は日々の積み重ねが重要。授業で理解できなかった事項等は便覧や辞書等で調べ、積極的に担当者に質問し解決する。 |
| 評価について | 各単元で設定された目標に対する観点別評価を行う。評価方法は、授業態度や授業内の協働学習での取組み、小テスト、提出物、定期考査などである。各単元における評価方法は、上記【※評価方法】の通りである。各単元及び各学期における観点別の評価と、学年末における観点別の評価をもとに総合的な評価を行い、学年末に５段階の評定に総括する。 |